

(19)日本国特許庁(JP)

(12)特許公報(B1)

(11)特許番号

特許第7264385号
(P7264385)

(45)発行日 令和5年4月25日(2023. 4. 25)

(24)登録日 令和5年4月17日(2023. 4. 17)

(51)Int. Cl.	F I
H O 4 W 74/08 (2009. 01)	H O 4 W 74/08
H O 4 W 72/54 (2023. 01)	H O 4 W 72/54 1 1 0
H O 4 W 24/02 (2009. 01)	H O 4 W 24/02

請求項の数 15 (全 40 頁)

(21)出願番号 特願2022-46729(P2022-46729)	(73)特許権者 393031586
(22)出願日 令和4年3月23日(2022. 3. 23)	株式会社国際電気通信基礎技術研究所
審査請求日 令和4年5月19日(2022. 5. 19)	京都府相楽郡精華町光台二丁目2番地2
(出願人による申告) 令和3年度、支出負担行為担当官、総務省大臣官房会計課企画官、研究テーマ「電波利活用強靱化に向けた周波数創造技術に関する研究開発及び人材育成プログラム」に関する委託研究、産業技術力強化法第17条の適用を受ける特許出願	(73)特許権者 598015084
	学校法人福岡大学
	福岡県福岡市城南区七隈8丁目19番1号
	(74)代理人 100112715
	弁理士 松山 隆夫
	(72)発明者 今中 崇嗣
	福岡県福岡市城南区七隈8丁目19-1
	学校法人福岡大学内
	(72)発明者 太田 真衣
	福岡県福岡市城南区七隈8丁目19-1
	学校法人福岡大学内

最終頁に続く

(54)【発明の名称】 端末装置、コンピュータに実行させるためのプログラムおよびプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体

(57)【特許請求の範囲】

【請求項1】

パケットを送信するチャネルである送信チャネルにおいてキャリアセンスを実行するキャリアセンス手段と、

前記送信チャネルでのパケットの送信を待機する期間である待機期間を設定するとともに前記待機期間の終了時を前記パケットの送信タイミングとして設定する設定手段と、

前記待機期間における前記キャリアセンス手段によるキャリアセンスの結果に基づいて前記送信チャネルが使用されている期間である前記送信チャネルの使用期間の長さを検出する検出手段と、

前記送信タイミングにおいて前記送信チャネルが空いているとき前記パケットを前記送信チャネルで送信するとともにACKパケットを受信する通信手段と、

前記待機期間の長さ、前記送信チャネルの使用期間の長さおよび前記パケットの送信動作結果を受け、その受けた前記待機期間の長さ、前記送信チャネルの使用期間の長さおよび前記パケットの送信動作結果に基づいて第1の時点における即時報酬を算出する第1の処理と、前記即時報酬の累積値を平均した報酬であり、かつ、前記第1の時点の後の第2の時点における報酬である平均報酬を前記第1の処理において算出した即時報酬を用いて算出する第2の処理と、前記待機期間の長さの選択肢と、前記待機期間の長さ、前記平均報酬とを対応付けた対応表を作成するとともに前記第2の処理において算出した平均報酬によって前記第1の時点において前記設定手段へ出力した前記待機期間の長さに対応付けられた平均報酬を更新することによって前記対応表を更新し、その作成または更新した

10

20